



国土交通省
信濃川河川事務所

記者発表資料

平成30年4月2日

本資料の発表をもって解禁

信濃川河川事務所 平成30年度予算の公表 ～大河津分水路の改修の推進 等～

平成30年度予算は3月28日に成立し、国土交通省関係の予算が公表されました。

信濃川河川事務所では、平成27年度より新規事業として進められている大河津分水路の改修を引き続き実施します。

平成30年度当初の河川改修にかかる予算は、77億6千2百万円(工事諸費等除く)です。

(そのうち、大河津分水路の改修に係る予算は70億4千万円です)

主要事業の概要は、以下を参照ください。

○大河津分水路の改修の推進 参考資料1

○堤防強化対策の推進(燕市大川津地区) 参考資料2

(参考)

<本省HP>

○国土交通省関係予算の概要

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo05_hy_001408.html

<北陸地方整備局HP>

○北陸地方整備局関係予算の概要

http://www.hrr.mlit.go.jp/library/yosan/H30/jigyoku_keikaku/index.html

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ、新潟県政記者クラブ
市政記者クラブ、新市政記者クラブ
長岡市記者会、長岡地域記者会
三条市記者室、十日町記者クラブ、
小出郷新聞、小千谷新聞、
越南タイムス、FMゆきぐに、
建設業界向け専門紙

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所
広報担当 専門官 青木 信男(あおき のぶお)
電話：0258-32-3020(内線216)

しなのがわ
信濃川

おおこうづぶんすいろ
大河津分水路改修の推進

にいがた ながおか つばめ
新潟県長岡市、燕市

H30事業費
7,762百万円※

※信濃川河川改修事業のH30全体事業費
(うち大河津分水路改修のH30事業費 7,040百万円)

事業の概要

おおこうづぶんすいろ しなのがわ えちご
大河津分水路は信濃川の洪水から越後平野を守るため、大正11年（1922年）に通水した延長約10kmの人工の放水路ですが、河口部は洪水を安全に流下させるための断面が不足しています。平成23年7月洪水では、分水路直上流で計画高水位を超過し、危険な状態となりました。また、分水路建設後90年以上が経過し、施設の老朽化・機能低下も顕著になっています。

おおこうづぶんすいろ しなのがわ しなのがわ
大河津分水路より上流側に位置する信濃川中流部や千曲川をはじめ、信濃川水系全体の洪水処理能力を向上させるため、最下流に位置する大河津分水路の改修に平成27年度より着手しています。

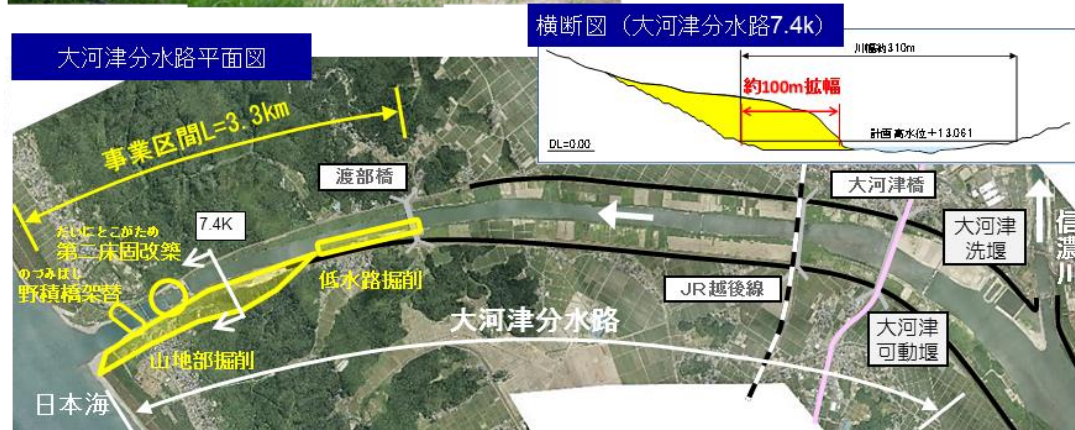
おおこうづぶんすいろ
大河津分水路の改修にあたっては、課題となっている洪水処理能力向上や河床の安定、老朽化施設の対策として、河口山地部掘削、低水路拡幅、第二床固の改築等を実施することとしています。

整備効果

おおこうづぶんすいろ しなのがわ
大河津分水路の改修により信濃川水系の治水安全度を向上させます。

平成30年度の事業内容

用地取得及び山地部掘削の推進、第二床固改築の着手など事業進捗を図ります。



信濃川 堤防強化対策の推進

しなのがわ
つばめし おおかわづ
新潟県燕市(大川津地区)

H30事業費
7,762百万円※

※信濃川河川改修事業のH30の全体事業費

事業の概要

河川堤防は、築堤に用いた材料や地盤地質等の状況により堤体漏水や基盤漏水を起こすことがあります。これらが原因で堤防の土砂流出やすべり破壊が生じ、堤防決壊につながる恐れがあります。

大河津分水路の堤防区間でも、既往洪水の際に漏水が確認されており、特に右岸堤防が決壊した場合には、氾濫による影響が新潟市街地にまで及び甚大な被害の発生が予想されるため、洪水時の堤防の安全性を向上させる堤防強化対策工を実施しています。

整備効果

右岸堤防の強化対策（浸透対策）として築堤整備を行うことで、堤防の安全性を向上させ、堤防決壊によるリスクを未然に防ぎます。

平成30年度の事業内容

大河津分水路右岸燕市大川津地区において、堤防強化対策（浸透対策）に伴い改築が必要となる樋門及び排水機場の改築を実施します。

位置図



堤防川裏漏水状況

大河津分水路右岸
3.0k付近



平成18年7月洪水

事業内容

